

# 環境経営レポート

株式会社古川工務店

【発行日】令和5年10月20日

【対象期間】令和4年8月～令和5年7月

久留米市の花「つつじ」が見事に咲き誇っています 令和5年4月撮影

# (目次)



*目次	P.1
*事業内容	P.2
*EA21実施体制	P.3
*環境経営方針	P.4
*SDGs宣言	P.5
*主な環境経営活動計画の内容	P.6
*環境経営計画に基づき実施した取組内容(写真)	P.7-11
*環境経営目標	P.12
*環境経営目標の実績、環境経営活動計画の取組結果	P.13
*環境経営活動の取組結果の評価、今後の取組内容	P.14-15
*環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.16
*代表者による全体評価と見直しの結果	P.16

# 《事業内容》



## 1.事業所名及び代表者名・所在地

会社名	株式会社 古川工務店
住所	〒839-0809 福岡県久留米市東合川 1丁目 5-8
代表者名	代表取締役 古川 恒博



会社外観

## 2.環境管理責任者及び事務局担当者

環境管理責任者	工務部 徳富 一郎
事務局	総務・経理部 西木 マリ
TEL	0942 (45) 2277
FAX	0942 (45) 2212
E-MAIL	t-furu@juno.ocn.ne.jp

## 3.事業内容

事業内容	建設業(管工事業)空調・給排水・ガス・衛生設備施工
------	---------------------------

## 4.建設業の許可

建設業許可番号	福岡県知事 (特-4) 028285 号 許可有効期限 令和4年10月2日から令和9年10月1日
---------	---

## 5.事業規模

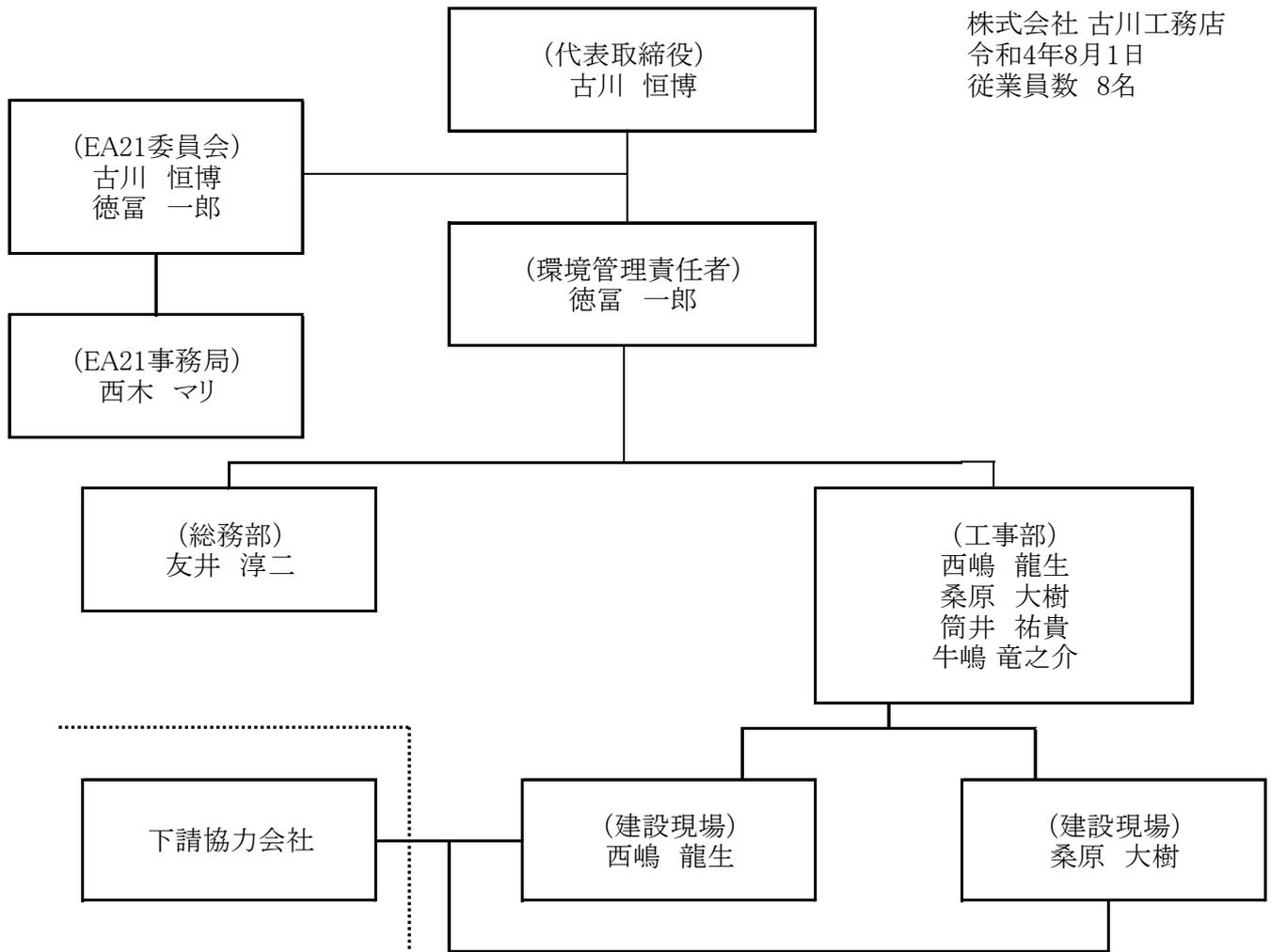
創業	1948年
資本金	2,000万
従業員数	8人
売上高	242百万円 (令和4年8月1日～令和5年7月31日)
事業所床面積	416.25㎡
事業所敷地面積	373.66㎡

## 5.対象範囲及び組織

対象範囲	全組織・全活動が認証・登録範囲です
組織・活動	本社・管工事業



株式会社 古川工務店  
令和4年8月1日  
従業員数 8名



役割分担表

氏名	所属	役割・責任・権限
古川 恒博	代表取締役	全体統括、環境経営方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し。環境文書の制改定責任者。環境管理責任者の任命。
古川 恒博	EA21委員会	月に1回開催し、環境経営目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議する。
西嶋 龍生	工事部	建設現場の燃料(ガソリン)廃棄物管理
桑原 大樹	工事部	建設現場の燃料(ガソリン)廃棄物管理
徳富 一郎	環境管理責任者	環境経営管理責任者として、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する。
筒井 祐貴	工事部	建設現場の燃料(ガソリン)廃棄物管理
徳富 一郎	EA21委員会	月に1回開催し、環境経営目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議する。
西木 マリ	EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
友井 淳二	総務部	電力・水・車燃料(ガソリン) 廃棄物管理
牛嶋竜之介	工事部	建設現場の燃料(ガソリン)廃棄物管理・フロン類点検
全従業員	全所属	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

# 環 境 経 営 方 針



## [企業理念]

当社は、久留米市国分町で1948年(昭和23年)に創業し、建設業(管工事)を通して、『利他』の心で地域社会に貢献することを目標に事業活動を行ってまいりました。今後も、事業継続には地球環境の悪化を改善すべく、地域環境・地球環境に可能な限り負荷をかけない環境経営の継続的改善を心掛け、地域・社会に貢献致します。

## [環境指針]

1. 次の事項に取り組みます。

- (1) 当社が提供する製品である建築物等の現場において、環境負荷の少ない施工管理・工程管理を行う。
- (2) 車輦のエコドライブの推進や電気エネルギーの削減推進により二酸化炭素排出量を削減する。今後もエコカーの導入を推進する。
- (3) 廃棄物を削減する。特にリユース・リサイクルを推進する。
- (4) 水の使用量を削減する。
- (5) グリーン購入を推進する。
- (6) 地域貢献活動を推進する。

2. 当社に関係する環境関連法規を遵守する。

制定日 平成 23年 8月 11日

改定日 令和 1年 8月 1日

株式会社 古川工務店

代表取締役 **古川恒博**

# SDGS 宣言

～ 環境・人・お財布に優しく ～



1. 我が社は、事業活動を通して持続可能な社会づくりに貢献します。
2. 我が社は、エコアクション21を通して環境負荷の少ない社会を目指します。
3. 我が社は、誰一人取り残さない平等な社会の実現を目指します。
4. 我が社は、地域のボランティア活動を通じて社会貢献に努めます。

株式会社 古川工務店

代表取締役 **古川恒博**



## ■主な環境経営活動計画の内容

令和4(2022)年度

運用期間(令和4年8月～令和5年7月)

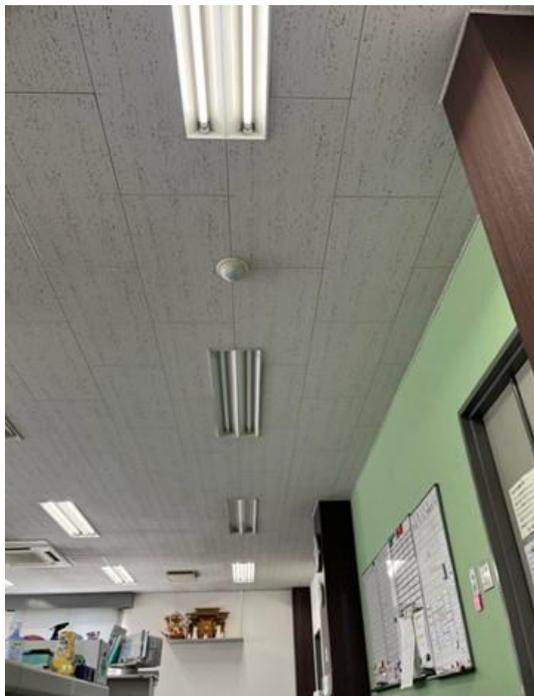
No		環境目標	環境活動計画
1		二酸化炭素排出量の削減	
[1]	 	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明の内、不要な場所をチェックし取外す</li> <li>・エアコン設定温度を夏期27度、冬期20度とする</li> <li>・不使用のPC電源をOFF又はスタンバイにする</li> <li>・昼休み時間は消灯する</li> <li>・定期的な空調機フィルターの清掃</li> </ul>
[2]	    	ガソリン使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの実施</li> <li>・行先の重複を避ける</li> <li>・運行経路の見直し</li> </ul>
2-[1]	    	一般廃棄物排出量削減	・分別によるリサイクルの推進(特にダンボール・缶・ペットボトル)
		(可燃ごみ)	・コピー用紙裏紙の利用
2-[2]	     	産業廃棄物最終処分量ゼロの継続	・分別によるリサイクルの推進
			・転用可能な資材の活用
3	 	水使用量の削減	・止水栓調整により総量を減らす
			・節水コマの取付
4	 	グリーン購入の推進	・グリーン相当事務用品の調査購入
			・グリーン購入品相当資機材の調査、再生品利用率の把握
5	   	地域貢献活動の推進	・地域での環境活動に積極的に参加する
6	        	環境負荷の少ない施工管理・工程管理	・工期短縮



## ■環境経営計画に基づき実施した取組内容

令和4(2022)年度

運用期間(令和4年8月～令和5年7月)



・照明の不要な場所をチェックし外す

社内はLED照明にしているが、さらに不必要な箇所は外している



・エアコン設定温度を夏27度、冬20度とする

リモコンが一番近い社員がその風量や温度をその都度調節



・不使用のPC電源をOFFまたはスタンバイにする  
PCに繋がる配線の点検及び不必要箇所の確認・撤去



・昼休みは消灯する

お昼12時から13時は全消灯する

昼休み以外も不必要箇所は消灯する



### ・定期的な空調フィルターの清掃

1か月に最低1回以上清掃する



### ・エコドライブの実施

エコドライブ10のすすめを携帯し出かける前にチェックする(社用車に携帯)



### ・行く先の重複を避ける

LINEグループ(SNS)を利用し行先の確認や現在地の共有をすることで重複せずに行動できる。社会的にも属人化を防ぐことができる。



### ・運行経路の見直し

運行経路図を作成し、社員全員が出かける前に確認している。道路事情が変化すればそのつど更新する。



・分別によるリサイクルの推進(一般廃棄物)  
回収BOX(専用BOX)を設置している。



・コピー用紙の裏紙の利用(一般廃棄物・可燃ごみ)  
複合機トレーの1箇所A4の裏紙専用で使用。A3用紙は半分に裁断してA4として再利用している。



・分別によるリサイクルの推進(産業廃棄物)  
BOX・フレコンバッグともに毎日中身をチェックし、再利用できる物が入っていたら「リユースBOX」に入れる。



・転用可能な資材の活用  
現場で出た廃材を使用できる部品は仮設で再利用する。その他は専門業者に買取り・最終処分をお願いする。



・止水栓調整により総量を減らす  
 メーター内にあるレバーで水量を調整する。  
 週に1回チェック。この時に社内の全部の水栓  
 を止めて漏水していないかのチェックも行う。



・節水コマの取付  
 劣化前に定期的に確認・交換する



グリーン相当事務用品の調査購入  
 買換時にGPN商品該当の機械を調査し、業者と相談  
 の上機械を購入した（一段目は裏紙用として使用）



・グリーン購入品相当資機材の調査、再生品利用率の把握  
 グリーン購入リストやメーカーのカタログ等  
 を元に施主様に提案し、購入している



・地域での環境活動に積極的に参加する  
福岡県さわやか道路美化促進事業登録参加  
通学時間帯に見守りも兼ねて行っている



・工期短縮  
最低週に1度は打合せを密に行い安全  
かつ環境負荷をかけずに工期短縮を目指す



## ■環境経営目標

令和4(2022)年度

運用期間(令和4年8月～令和5年7月)

環境目標		単位	該当事業所	平成30年度 (基準年度)	令和1年度 (R1.8-R2.7)	令和2年度 (R2.8-R3.7)	令和3年度 (R3.8-R4.7)	R4年度 (R4.7-R5.7)
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	全社	19,056	18,865以下 △1%	18,674以下 △2%	18,484以下 △3%	18,293以下 △4%
[1]	電気使用量の削減	kWh	本社	9,680	9,583以下 △1%	9,486以下 △2%	9,389以下 △3%	9,292以下 △4%
[2]	ガソリン使用量の削減	L	全社	6,761.00	6,693以下 △1%	6,625以下 △2%	6,558以下 △3%	6,490以下 △4%
2	一般廃棄物排出量削減 (可燃ごみ)	kg	本社	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下
	産業廃棄物最終処分量ゼロの継続	t	作業現場	0	0	0	0	0
3	水使用量の削減	m <sup>3</sup>	本社	67以下	67以下	67以下	67以下	67以下
4	グリーン購入の推進	品目	全社	全分野75以上	全分野75以上	全分野75以上	全分野75以上	全分野75以上
5	地域貢献活動の推進	回/年間	全社	48	48以上	48以上	48以上	48以上
6	環境負荷の少ない 施工管理・工程管理	—	全社	工期短縮	工期短縮	工期短縮	工期短縮	工期短縮

△%は基準年度に対する削減率を示す。

二酸化炭素の排出係数は九州電力平成30年度調整後排出係数0.347kg-CO2/kWhを使用しています。



## ■環境経営目標の実績、環境経営活動計画の取組結果

令和4(2022)年度

運用期間(令和4年8月～令和5年7月)

No	環境目標				環境活動計画	実施状況
	内 容	12か月 目標	単位	実績 (達成率)		
1	二酸化炭素排出量の削減	18,293.00	kg -CO2	20,323.40 88%		
[1]	電気使用量の削減	9,292	kWh	11,093 80%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明の内、不要な場所をチェックし取外す</li> <li>・エアコン設定温度を夏期27度、冬期20度とする</li> <li>・不使用のPC電源をOFF又はスタンバイにする</li> <li>・昼休み時間は消灯する</li> <li>・定期的な空調機フィルターの清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
[2]	ガソリン使用量の削減	6,490.00	ℓ	7,100.92 90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブの実施</li> <li>・行先の重複を避ける</li> <li>・運行経路の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
2-[1]	一般廃棄物排出量削減 (可燃ごみ)	30	kg	23.2 122%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別によるリサイクルの推進(特にダンボール・缶・ペットボトル)</li> <li>・コピー用紙裏紙の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
2-[2]	産業廃棄物最終処分量ゼロの継続	0	t	0 -	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別によるリサイクルの推進</li> <li>・転用可能な資材の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
3	水使用量の削減	67	m3	66.5 100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・止水栓調整により総量を減らす</li> <li>・節水コマの取付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
4	グリーン購入の推進	75	品目	99 132.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン相当事務用品の調査購入</li> <li>・グリーン購入品相当資機材の調査、再生品利用率の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> <li>○</li> </ul>
5	地域貢献活動の推進	48	回	48 100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での環境活動に積極的に参加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> </ul>
6	環境負荷の少ない施工管理・工程管理	工期短縮		達成 100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工期短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○</li> </ul>

※削減が目標の項目の達成率は(目標値－実績値)/目標値+1に100を掛けて算出した。

※増加が目標の項目の達成率は(実績値－目標値)/目標値+1に100を掛けて算出した。

※二酸化炭素の排出系数は九州電力平成30年度調整後排出係数0.347kg-CO2/kWhを使用しています。



## ■次年度の環境経営目標及び環境経営計画

令和4(2022)年度

運用期間(令和4年8月～令和5年7月)

### 1 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量は電気使用量については目標を達成できませんでした。電気使用量を少なくする為に、冬季は南側の陽当たりの良い場所に席を移動して空調機を消したり、使用時間を減らしました。また夏季は北側の席で作業したりサーキュレーターや扇風機を利用し服装等は現場から戻ったらTシャツに着替えたり、靴下等を脱いだり工夫は皆行いました。結果的には目標は達成できませんでした。ガソリン使用量も社用車の中でも軽自動車や乗り合わせでの移動を心掛け出発時にはエコドライブのすすめ10を的確に実行しましたがこれも目標達成しませんでした。対策と致しましては、新型コロナウイルスが5類に移行され行動制限も緩和されてきたので、時期はエコドライブ講習を社内で行いたいと思います。

### 2 一般廃棄物排出量の削減

一般廃棄物排出量の削減は今期も目標達成できました。昨季から掲げておりました重点項目のなかで特に全員が行動できた事は伝達事項をLINEグループ内やホワイトボードでペーパーレス出来た事。資材・文具備品等は中身が傷んだりしない物以外は簡易包装現物のみで届く様にした事です。会社から送るお中元等や荷物は簡易包装やリサイクルの袋にしました。このような動きは自社だけでなくメーカーさん、配送業者さん、問屋さんの理解もあって実現しています。

### 3 産業廃棄物最終処分量ゼロの継続

今期の産業廃棄物の量は20m<sup>3</sup>で前期より1m<sup>3</sup>減少し、前々期より6m<sup>3</sup>減少しました。その内、約6割が排水管改修工事等が出る硬質塩化ビニール管等の廃プラスチック類でした。木くずや端材で倉庫の棚やBOX作成、洗浄液が入っていた容器をバケツ代わりに再利用、撤去品の金具などを再利用して排出量を削減する事ができました。最終処分の方法や内容の内訳は収集時に業者に確認し、マニフェストが戻った時点で最終処分までのプロセスを再度確認し、マニフェストに確認日を記入しています。



リサイクルリユース可能な容器



木の端材で棚を作成



撤去品金具でホース巻取りフック作成

### 4 水使用量の削減

水使用量は何とか目標を達成することが出来ました。ですが7月の豪雨災害で会社の浸水は免れたものの、会社周辺の汚水の汚れの掃除等で高圧洗浄の機械を使用したことで予測よりも水使用量が増加しました。豪雨災害が起きるとあらゆるものが流出・流入するので復旧工事や洗浄等で使用する水以外に機械を動かすための動力・燃料が必要となることで新たに環境に負荷がかかる事が問題です。費用のかかる大きな対策は公的機関に委ねるしかありませんが、会社や個人単位で出来る対策はこれからも引き続き行っています。

## 5 グリーン購入の推進

グリーン購入の推進は、今期も目標達成できました。

お客様には見積の段階でグリーン購入適合品の水栓部材や衛生陶器類をパンフレットや実物で確認して頂きご理解して頂いた上で納品・施工しました。接着剤や洗浄剤に関しましてはPRTR法に該当するものやシックハウスの原因に該当する物質が含まれるもの等の購入や仕様はありませんでした。

事務所内においては主に事務用品を金属類から樹脂製・紙製に変更し、社内備品等もGPN商品優先で購入しました。

## 6 地域での環境保全に貢献する

建設現場、会社周辺、県道、通学路等の掃除を行い清掃・美化活動を行いました。

7月の豪雨災害時には会社自体は被害は免れましたが周辺の道路や側溝で汚水が溜まったり、ゴミ詰りや汚臭が起きたので清掃活動や消毒をしたり高圧洗浄機で清掃しました。

市のグリーンエコ推進事業、福岡さわやか道路美化促進事業とも長期にわたり行っているのが習慣化していますし、現場の清掃・美化活動は工程表の中に組み込まれていますので今後も継続していきたいと思えます。



工事現場と周辺道路の清掃作業



会社周辺の清掃作業



清掃作業後にでたゴミ

## 7 環境負荷の少ない施工管理

今期は、大型工事(長期工事)を本社から比較的遠方で受注したので材料を現場施工日と同日に現場に納品してもらったり、他の工事は施工場所から近い問屋さんから材料を購入したり移動距離を少なくすることで負荷の少ない施工ができた。特にうきは市の現場では本社から片道35キロ程の距離だったので現場と同市内に居住する社員を配置し直行・直帰する事により移動距離や燃料も抑えられた。

公共工事や大型工事は自社以外の業種が輻輳し工期の変更は難しいが、単独で請負った民間工事等は施主様や各業者さんの協力のもと殆どの工事を工期短縮できた。また現場各々でその場で撤去品等を分別することで会社に戻ってからの手間や時間を短縮できた。



現場ごとでその日の工事終了後に撤去品等の分別をしている

## 8 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

以上の各項目の評価をふまえ、環境経営計画としての「取組内容」は継続と致します。

ただし、環境経営目標は令和2年度を基準年度として見直します。

## ■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



弊社の遵守しなければならない環境関連法規として、廃棄物の処理及び清掃に関する法律があります。

弊社は遵守状況を自主的にチェックした結果、違反等はありませんでした。

なお、これらの法規制に対する関係当局からの違反の指摘、隣接する事業所及び住民の方々から苦情や訴訟もありませんでした。

環境関連基本法	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵守している
廃棄物処理法(雑則)	遵守している
建設工事に関する資材の再資源化等に係る法律(建設リサイクル法)	遵守している
使用済自動車の再資源化に関する法律(自動車リサイクル法)	遵守している
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	遵守している
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	該当なかった
使用済小型家電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)	遵守している

## ■代表者による全体評価と見直しの結果

評価及び見直しを実施した年月日	令和 5 年 8 月 30 日
-----------------	-----------------

何年にもわたり新型コロナウイルスの恐怖に脅かされていましたが、令和5年5月から5類へと移行されました。新型コロナウイルス感染拡大による悪影響は限定的になりつつありますが、今度は世界情勢の悪化から燃料費や材料費の高騰、コロナ禍から続いている半導体不足による材料や機材の納入遅延。今後も厳しい状況の長期化が懸念されますが、このような状況だからこそEA21・SDGsの取組が最も重要になってきます。

この取組こそが今抱えている問題解決に繋がると考えられるからです。

次期は目標値の見直しと実施体制の変更を行うように指示致しました。

今期に目標達成出来なかった項目は 来期は達成できるよう今後も継続し、持続可能な社会の実現を目指していきます。